

6月の衛研検査情報

～ 概要版 ～

劇症型溶血性レンサ球菌感染症検査結果（2019年）

主な結果 発生届が出された24事例30菌株が搬入されました。A群15例、B群5例、G群4例でした。患者内訳は、男性14事例、女性10事例と男性が多い傾向でした。

薬事検査結果（令和元年度）

いわゆる健康食品と称して販売されている製品（強壮または痩身効果を目的とする製品）の「医薬品医療機器等法」で規制される成分検査を行っています。

主な結果 ダイエット、痩身等を標ぼうする15検体について、センナなど8項目の検査を行いました。また、強壮効果を標ぼうする15検体について、メチルテストステロンなど8項目の検査を行いました。その結果、いずれの成分も検出されませんでした。

水道水質検査の神奈川県外部精度管理調査への参加結果（令和元年度）

神奈川県が実施した令和元年度及び平成28年度から3年間の調査に参加した結果を報告します。

主な結果 「亜硝酸態窒素」、「塩化物イオン」、「有機物（全有機炭素：TOC）の量」の検査項目に参加し、良好な結果でした。

家庭用品検査結果（令和元年度）

家庭用品とは、衣料品や洗剤など私たちが日常生活で使用している生活用品のことをいいます。

主な結果 「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」（家庭用品規制法）に関する検査で取り扱った検体数は68件、延べ検査項目数は149件でした。検査の結果、規制基準を超えた検体はありませんでした。

横浜市衛生研究所WEBページ情報

感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 令和2年5月は、横浜市感染症情報センタートップページはじめ感染症発生状況関連ページ、大麻（マリファナ）、死亡率・致死率・死亡割合、ぎょう虫症、B群レンサ球菌感染症、パスト、コロナウイルス感染症に関するページへのアクセスが多くみられました。総件数は372,914件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページをご覧ください。



<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryu/eiken/geppo/inspection-inf.html>

横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査などの結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。